

ドライバーの雇用状況調査結果（令和6年7月）

（一社）静岡県トラック協会

I 調査要領

1. 目的 ドライバー確保及び雇用対策に資するため、会員事業場におけるドライバー不足の実態と、ドライバー確保（定着）対策等の現況を把握すること
2. 調査内容 県内事業場における在籍ドライバー数及び充足感等について
3. 調査時期 令和6年6月25日～7月31日（R5:令和5年7月28日～8月18日）
4. 調査方法 会員事業者1,349社に対し郵送にて調査票を送付・回収
5. 回答数 303社（回答率22%）

II 結果概要

1. 回答事業所の属性

- 保有車両別には、「10台以下」が29.8%、「11～20台」が30.1%、「21～50台」が27.4%、「51～100台」が10.7%、「101台以上」が2.1%となっている。
- 年代別のドライバーの割合は、「18～20歳」が0.3%（R5：0.3%）、「21～30歳」が4.1%（R5：5.3%）、「31～40歳」が11.6%（R5：12.6%）、「41～50歳」が28.2%（R5：28.8%）、「51～59歳」が37.1%（R5：35.5%）、「60歳以上」が18.8%（R5：17.4%）であった。R3以降毎年1%以上ずつ41歳以上の割合が増えており、若年層の採用が減っていることから高齢化が進行していることが窺える。
- 男女別のドライバーの割合は、「男性」が95.4%（R5：95.3%）、「女性」が4.6%（R5：4.7%）となっており昨年同様横ばいになっている。
- 国籍別のドライバーの割合は、「日本人」が98.8%（R5：99.5%）、「日本以外」が1.2%（R5：0.5%）であった。回答のあった外国籍ドライバーの男女合計は92名で、外国籍ドライバーの雇用がわずかであるが増えていることが窺える。

2. ドライバーの充足感

- 現状のドライバーの充足感は、「足りている」が27.7%（R5：28.9%）であるのに対して、「繁忙期のみ不足」20.8%（R5：24.4%）、「やや不足」40.2%（R5:36.4%）、「かなり不足」11.3%（R5: 10.4%）となっている。
- R4～R6年度調査での比較では、「足りている」との回答が36.7%→28.9%→27.7%と減少を続けていることに対し、「かなり不足」は8.3%→10.4%→11.3%と増加しており、ドライバー不足の状況が顕著に現れている。
- 保有車両規模別にみると、「足りている」との回答が「10台以下」では34.3%（R5: 39.3%）であるのに対して、51台以上を有する事業者では10.0%を下回っており、事業規模が大きくなるほど不足感が高まる傾向にある。
- 不足しているドライバー数は、1社平均3.09人（R5: 3.13人）（「10台以下」1.95人

(R5: 2.26 人)、「11~20 台」2.7 人 (R5: 2.62 人)、「21~50 台」1.13 人 (R5: 3.19 人)、「51~100 台」4.61 人 (R5: 4.25 人)、「101 台以上」6.8 人 (R6: 6 人)。

- 不足している種別のドライバー数は、「大型（11 トン以上）」が 277 人で 51.9% (R5: 47.1%) と最も多く、次いで「中型（11 トン未満）」が 138 人で 25.8% (R5: 25.6%)、「準中型（7.5 トン未満）」が 58 人で 10.9% (R5: 14.2%) となり、昨年同様に大型になるほどドライバーの充足感は低い状況にある。
- ドライバー不足の理由として回答が多かった順に「募集するも応募がない」48.0% (R5: 41.3%)、「受注量の増加」9.7% (R5: 7.1%)、「採用するも定着しない」9.7% (R5: 7.7%) となっている。しかし、業務内容・労働時間を原因とした退職が 6.9% (R5: 14.2%) となっており、時間外労働の上限規制の影響による可能性も推測される。
- ドライバー不足の状態が続いている期間については、昨年度調査に引き続き、「1 年以上(慢性的)」が 50.3% (R5: 45.8%) と約 5% 上昇し、ドライバー不足が常態化している状況が窺われる。

3. ドライバー不足への対策

- ドライバー不足の対応策としては「備車・下請けを利用している」が 19.5% で最も多い。次いで「高齢者の雇用（延長）」が 16.4% で前年度より減少。「女性用施設（休憩室・トイレ等）が無い」は 10.6% であり、昨年度とほぼ同様の結果となった。
- 女性ドライバーを採用しにくい理由については、「女性の応募がない」が 30.0% と最も多く、次いで「体力面でハンディ（力仕事等）がある」が 23.7% であった。

4. 時間外労働が年 9 6 0 時間を超えるドライバーの状況

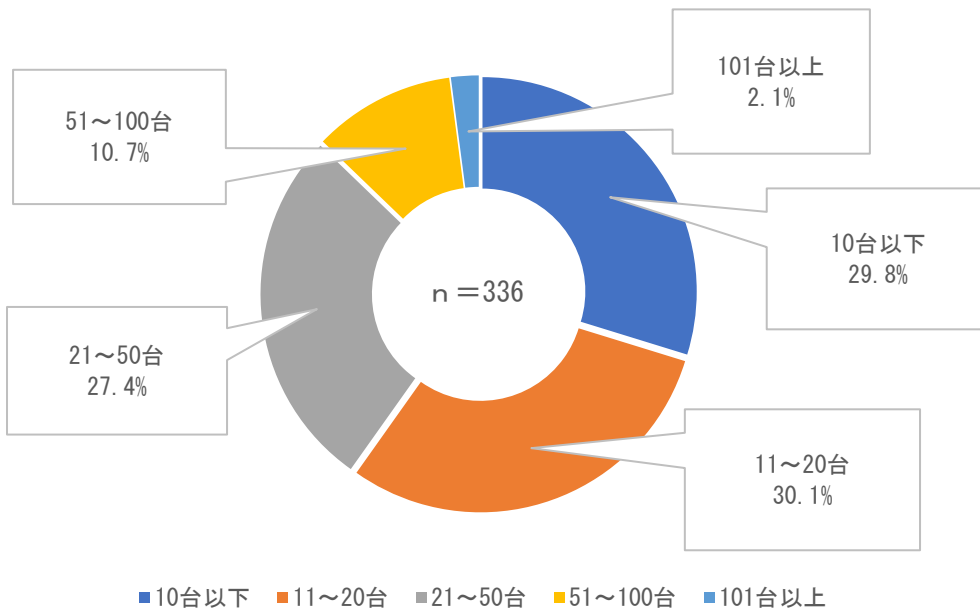
- 時間外労働時間が年 9 6 0 時間を超えるドライバーの有無について尋ねたところ、「いない」が 75.9% (R5: 60.5%)、「いる」が 20.4% (R5: 36.5%) と、昨年から時間外労働時間の上限規制を超えているドライバーは減少傾向にある。
- 時間外労働時間が年 9 6 0 時間を超えるドライバーいる割合は、「1 割未満」が全回答の内 15.2% と最も多い。対して「2 割～5 割以上」は 5.2% (R5: 21.4%) であり、昨年から時間外労働時間の上限規制を超えているドライバーの割合は減少していることが窺える。
- 時間外労働時間が年 9 6 0 時間を超えるドライバーがいる事業者に対し、時間外労働時間を、上限規制（年 960 時間）内に収められるかについては、「自社の努力次第で収められると思う」が 59.8% であった。対して「自社の努力だけでは難しいと思う」が 26.8% であり、その理由としては「荷積・荷卸しの待機時間が改善されない」などといった荷主の改善を望む声が多かった。一方で「荷主と改善に向けて取り組みをしている最中である」といった前向きな声もあげられた。

Ⅲ 調査結果

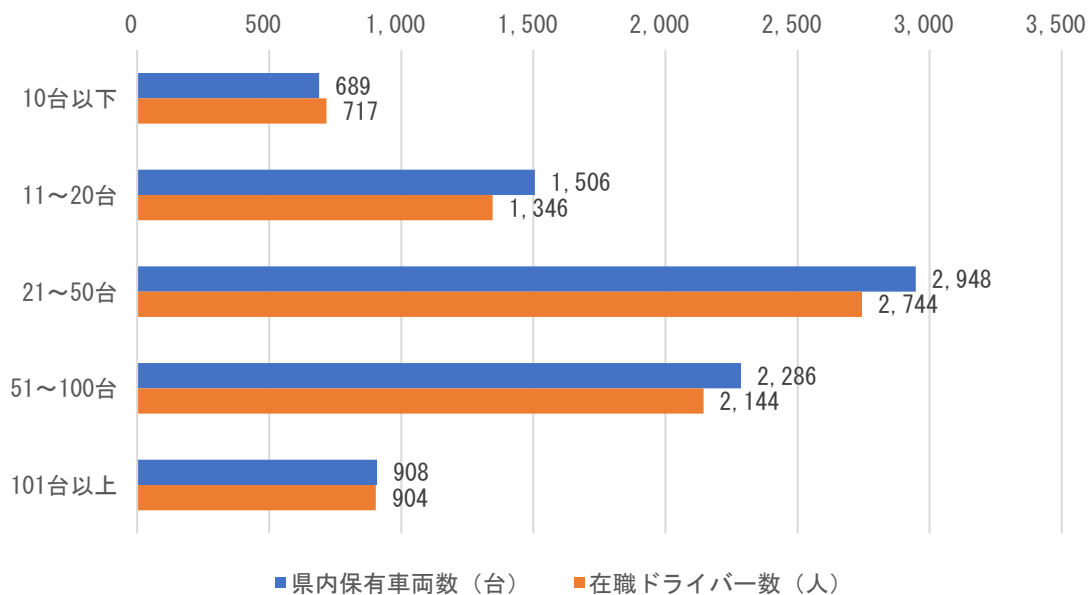
1. 回答者属性

	10台以下		11~20台		21~50台		51~100台		101台以上		計	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
回答者数(社)	88	100	95	101	83	92	33	36	9	7	308	336
県内保有車両数(台)	613	689	1,415	1,506	2,693	2,948	2,178	2,286	1,191	908	8,090	8,337
在職ドライバー数(人)	639	717	1,279	1,346	2,519	2,744	2,056	2,144	1,063	904	7,556	7,855

保有車両規模別事業所割合



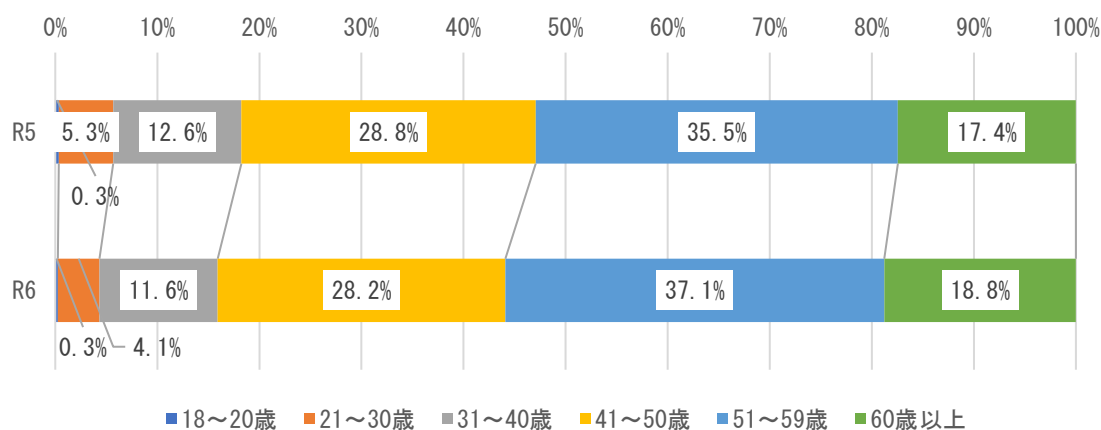
保有車両規模別車両数・ドライバー数



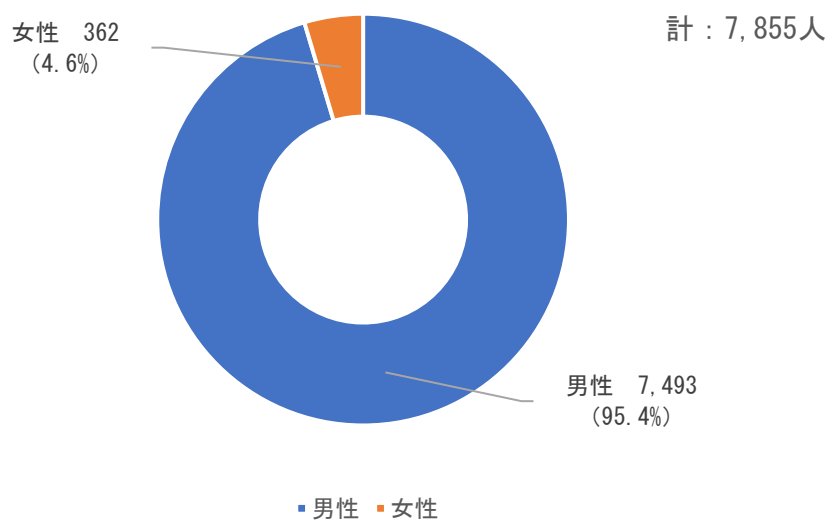
2. 在籍ドライバー

		10台	11～	21～	51～	101台	計	年代計	構成率
		以下	20台	50台	100台	以上			
①18～20歳	日本人男性	1	11	4	0	2	18	20	0.3%
	外国人男性	0	0	0	0	0	0		
	日本人女性	0	0	1	1	0	2		
	外国人女性	0	0	0	0	0	0		
②21～30歳	日本人男性	21	35	104	89	42	291	320	4.1%
	外国人男性	0	0	2	4	1	7		
	日本人女性	0	4	8	4	5	21		
	外国人女性	0	0	0	1	0	1		
③31～40歳	日本人男性	73	142	310	214	94	833	910	11.6%
	外国人男性	2	2	7	2	5	18		
	日本人女性	5	13	15	12	12	57		
	外国人女性	0	0	1	1	0	2		
④41～50歳	日本人男性	172	371	737	542	241	2,063	2,214	28.2%
	外国人男性	1	0	10	5	8	24		
	日本人女性	7	13	37	36	33	126		
	外国人女性	0	0	1	0	0	1		
⑤51～59歳	日本人男性	273	496	918	781	289	2,757	2,916	37.1%
	外国人男性	0	6	12	5	5	28		
	日本人女性	11	19	43	32	24	129		
	外国人女性	0	2	0	0	0	2		
⑥60歳以上	日本人男性	150	230	518	412	135	1,445	1,475	18.8%
	外国人男性	0	0	7	0	2	9		
	日本人女性	1	2	9	3	6	21		
	外国人女性	0	0	0	0	0	0		
計	日本人男性	690	1,285	2,591	2,038	803	7,407	7,855	100.0%
	外国人男性	3	8	38	16	21	86		
	日本人女性	24	51	113	88	80	356		
	外国人女性	0	2	2	2	0	6		
	計	717	1,346	2,744	2,144	904	7,855		

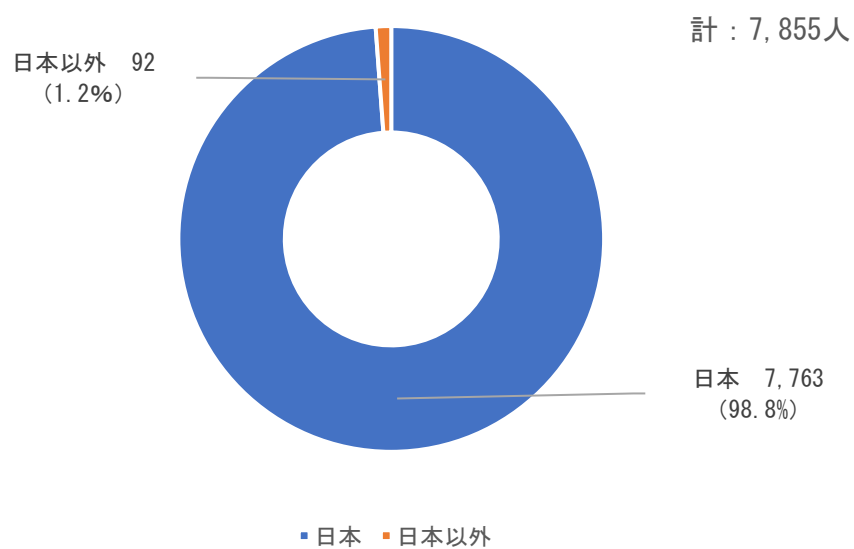
在職ドライバー数



在職ドライバー・男女比（人）



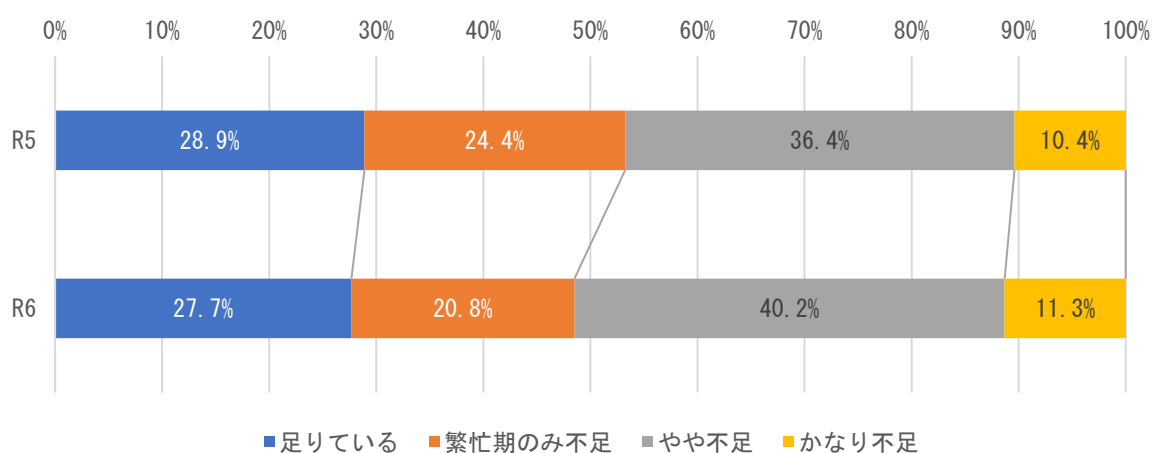
在職ドライバー・国籍別（人）



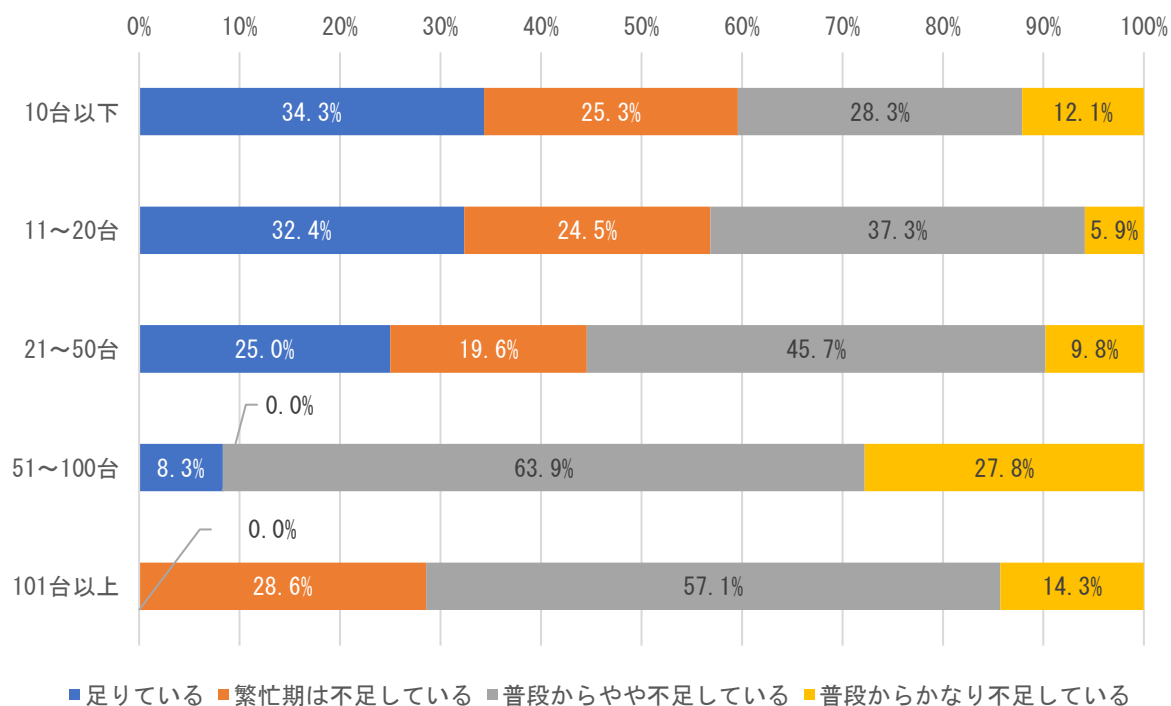
3. ドライバーの充足感

	10台以下	11~20台	21~50台	51~100台	101台以上	計	構成率
足りている	34	33	23	3	0	93	27.7%
繁忙期のみ不足	25	25	18	0	2	70	20.8%
やや不足	28	38	42	23	4	135	40.2%
かなり不足	12	6	9	10	1	38	11.3%
計	99	102	92	36	7	336	100.0%

ドライバーの不足感



ドライバーの不足感 回答割合 (規模別)



保有台数別不足ドライバー数平均（単位：人）

10台以下	11～20台	21～50台	51～100台	101台以上	平均
1.95	2.70	1.13	4.61	6.80	3.09

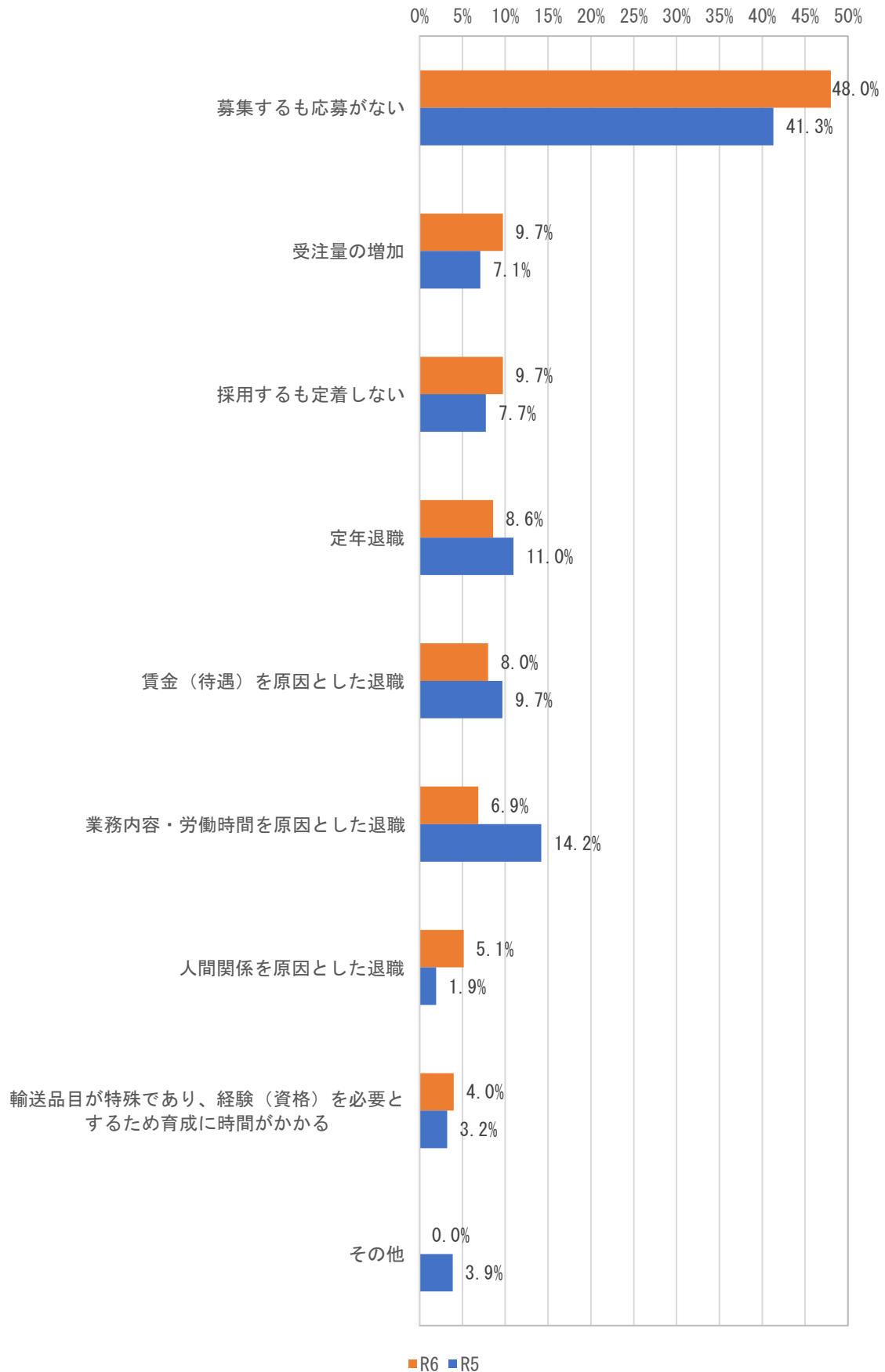
保有台数別種別別不足ドライバー数（単位：人）

	10台以下	11～20台	21～50台	51～100台	101台以上	計	構成率
①大型（11トン以上）	48	68	72	69	20	277	51.9%
②中型（11トン未満）	18	34	36	40	10	138	25.8%
③準中型（7.5トン未満）	6	10	24	18	0	58	10.9%
③普通（3.5トン未満）	4	4	8	8	0	24	4.5%
④けん引（トレーラ）	2	3	11	17	4	37	6.9%
計	78	119	151	152	34	534	100.0%

4. ドライバー不足の理由

	10台以下	11～20台	21～50台	51～100台	101台以上	計	構成率
定年退職	1	4	5	2	3	15	8.6%
業務内容・労働時間を原因とした退職	2	5	4	1	0	12	6.9%
賃金（待遇）を原因とした退職	5	2	3	4	0	14	8.0%
人間関係を原因とした退職	0	2	5	2	0	9	5.1%
受注量の増加	3	3	6	5	0	17	9.7%
募集するも応募がない	23	24	23	12	2	84	48.0%
採用するも定着しない	4	3	4	6	0	17	9.7%
輸送品目が特殊であり、経験（資格）を必要とするため育成に時間がかかる	2	3	1	0	1	7	4.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	40	46	51	32	6	175	100.0%

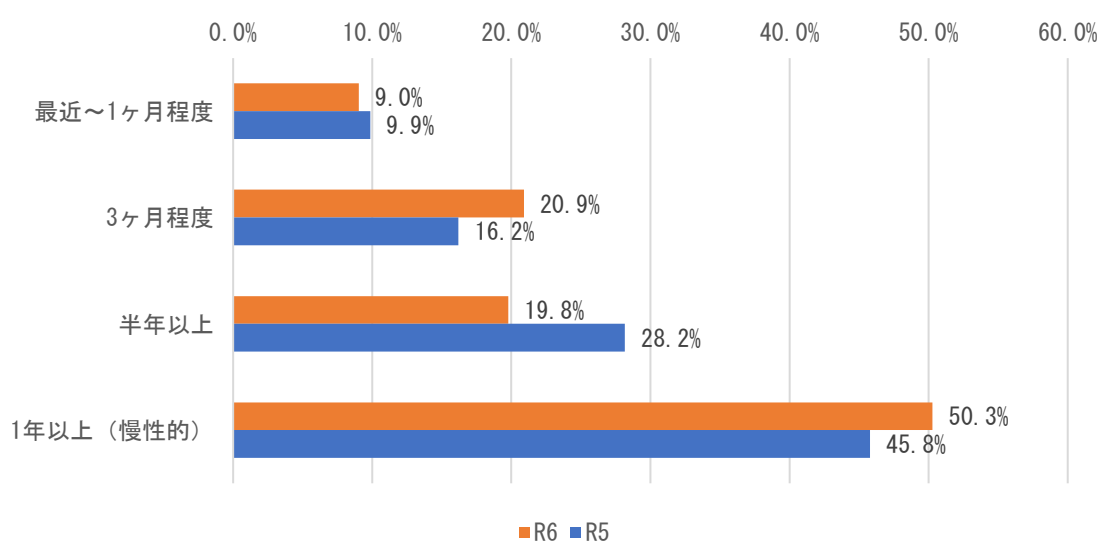
ドライバー不足の理由



保有台数別ドライバー不足が続いている期間（単一回答）

	10台 以下	11～ 20台	21～ 50台	51～ 100台	101台 以上	計	構成率
最近～1ヶ月程度	4	5	6	1	0	16	9.0%
3ヶ月程度	9	8	14	5	1	37	20.9%
半年以上	10	6	9	9	1	35	19.8%
1年以上（慢性的）	19	27	22	18	3	89	50.3%
計	42	46	51	33	5	177	100.0%

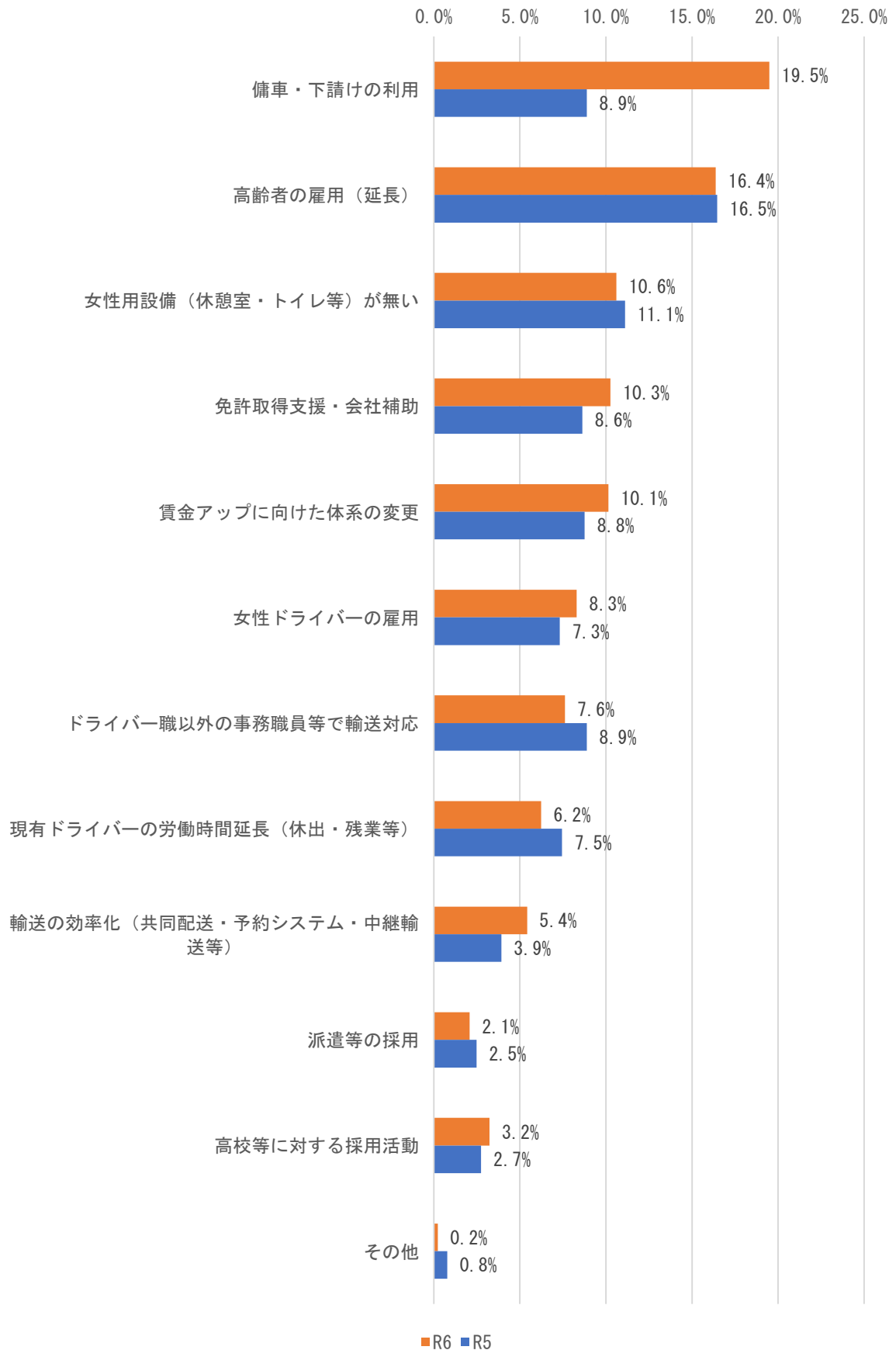
ドライバーの不足期間（単一回答）



5. ドライバー不足対策（複数回答）

	10台 以下	11～ 20台	21～ 50台	51～ 100台	101台 以上	計	構成率
高齢者の雇用（延長）	39	37	42	20	4	142	16.4%
女性ドライバーの雇用	13	20	20	14	5	72	8.3%
高校等に対する採用活動	5	5	8	8	2	28	3.2%
派遣等の採用	9	1	1	5	2	18	2.1%
免許取得支援・会社補助	24	20	29	15	1	89	10.3%
女性用設備（休憩室・トイレ等）が無い	17	35	33	7	0	92	10.6%
現有ドライバーの労働時間延長（休出・残業等）	18	14	14	7	1	54	6.2%
賃金アップに向けた体系の変更	24	23	25	12	4	88	10.1%
備車・下請けの利用	43	58	44	20	4	169	19.5%
ドライバー職以外の事務職員等で輸送対応	16	21	19	8	2	66	7.6%
輸送の効率化（共同配送・予約システム・中継輸送等）	6	16	15	8	2	47	5.4%
その他	1	0	1	0	0	2	0.2%
計	215	250	251	124	27	867	100.0%

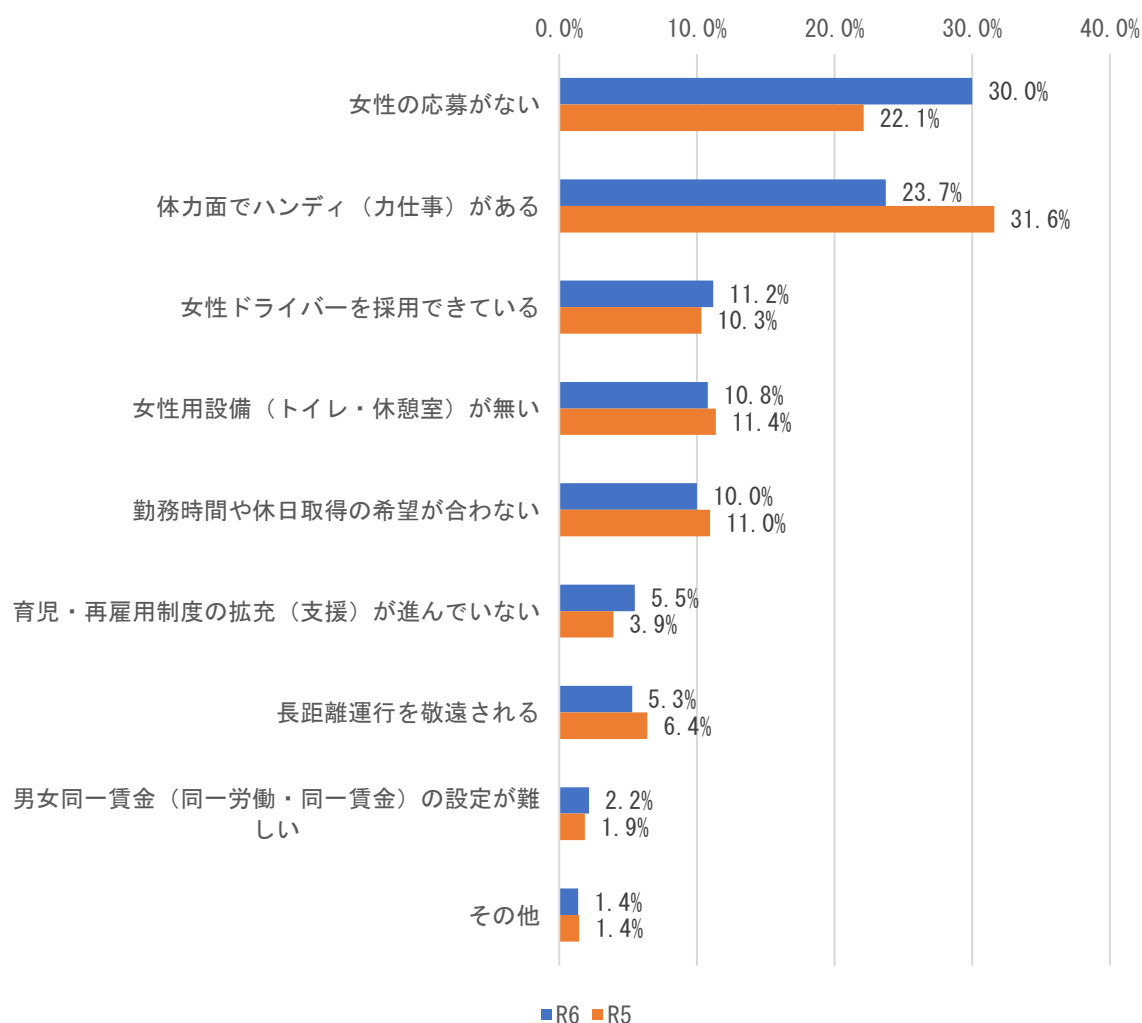
ドライバー不足対策（複数回答）



6. 女性ドライバーを採用しにくい理由

	10台 以下	11～ 20台	21～ 50台	51～ 100台	101台 以上	計	構成率
体力面でハンディ（カ仕事）がある	35	39	35	11	1	121	23.7%
勤務時間や休日取得の希望が合わない	15	15	13	7	1	51	10.0%
長距離運行を敬遠される	7	9	6	5	0	27	5.3%
男女同一賃金（同一労働・同一賃金）の設定が難しい	5	4	0	2	0	11	2.2%
育児・再雇用制度の拡充（支援）が進んでいない	10	11	5	2	0	28	5.5%
女性用設備（トイレ・休憩室）が無い	18	20	9	7	1	55	10.8%
女性の応募がない	46	40	44	21	2	153	30.0%
女性ドライバーを採用できている	12	17	16	8	4	57	11.2%
その他	2	3	1	1	0	7	1.4%
計	150	158	129	64	9	510	100.0%

女性ドライバーを採用しにくい（できない）理由（複数回答）

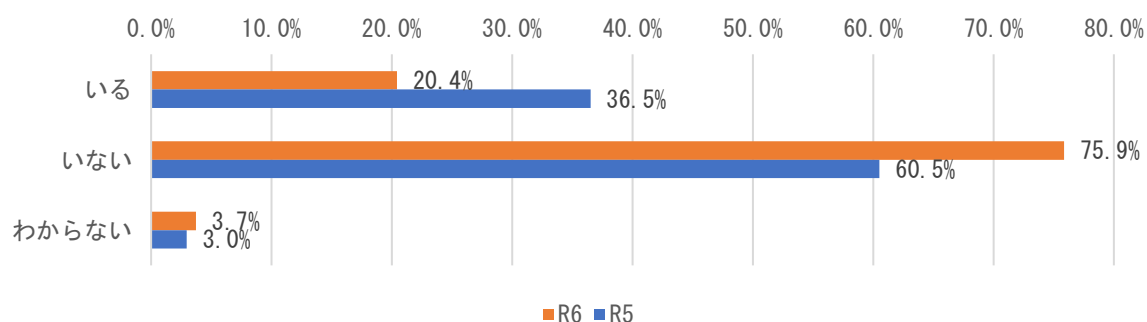


その他の理由：自主荷役（フォークリフト荷役）が多く、技術的に難しい点がある。/現在は募集をしていない。

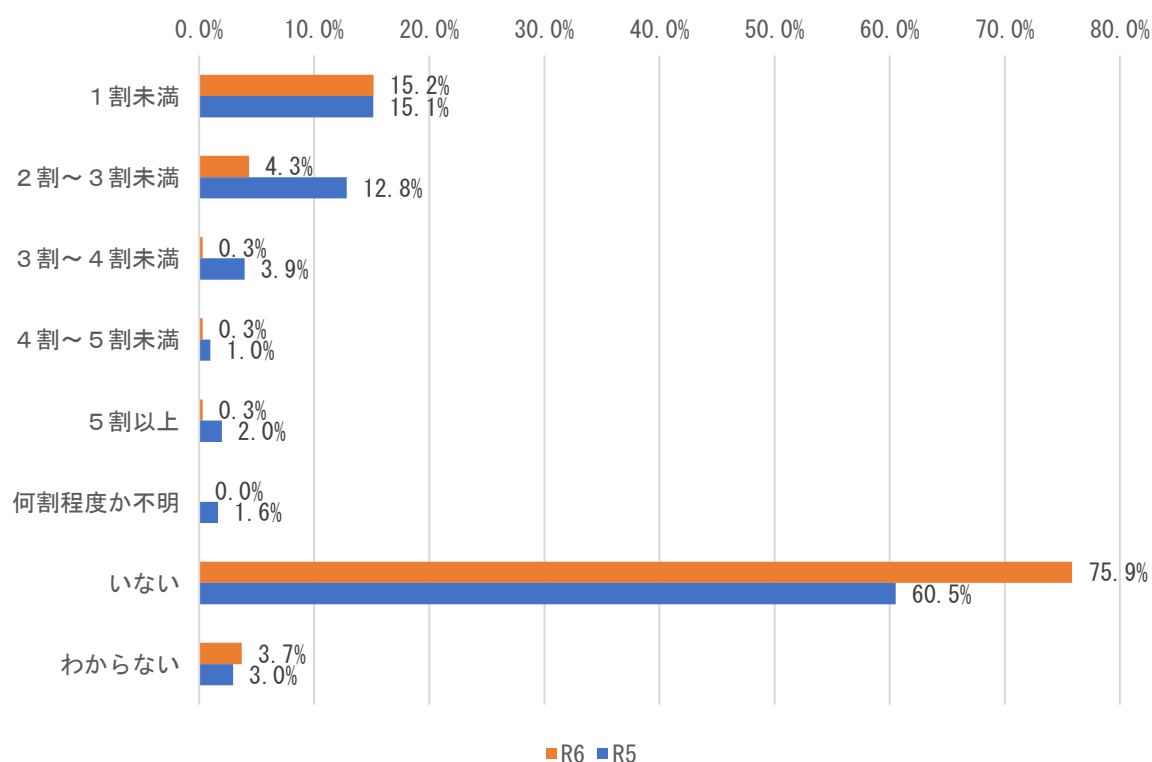
7. 時間外労働が年 960 時間を超える「ドライバー」の状況

	10台 以下	11～ 20台	21～ 50台	51～ 100台	101台 以上	計	構成率
1割未満	7	16	16	7	3	49	15.2%
2割～3割未満	2	1	7	4	0	14	4.3%
3割～4割未満	0	1	0	0	0	1	0.3%
4割～5割未満	0	0	0	1	0	1	0.3%
5割以上	0	0	0	1	0	1	0.3%
何割程度か不明	0	0	0	0	0	0	0.0%
いない	86	69	64	22	4	245	75.9%
わからない	2	4	5	1	0	12	3.7%
計	97	91	92	36	7	323	100.0%

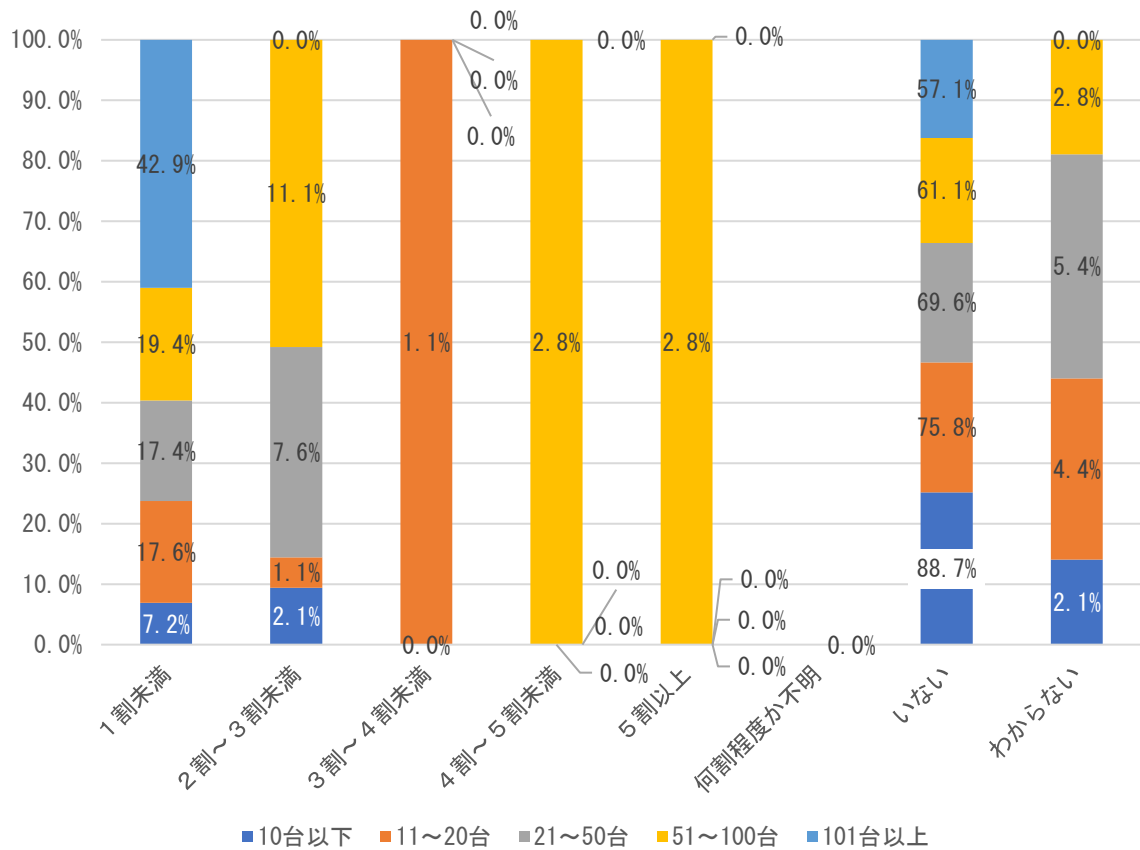
年960時間を超えるドライバーの割合



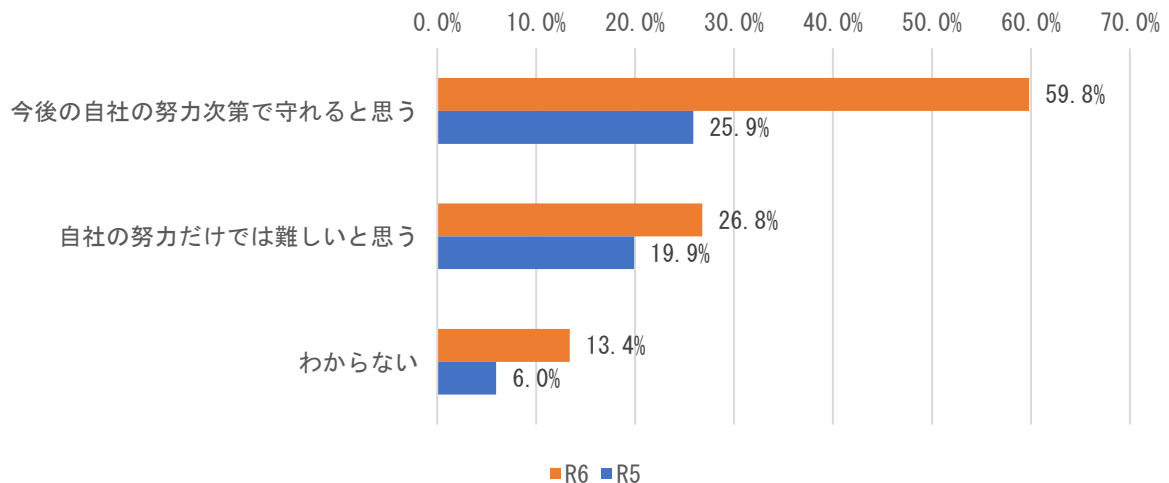
年960時間を超えるドライバーの割合（詳細）



年960時間を超えるドライバーの割合（事業規模ごとの割合）



「ドライバー」の時間外労働時間を 上限規制内に収めるには



その他の理由：荷主都合による荷待ち時間が長い。/荷主の要望を拒否すると他の運送会社へ依頼してしまう。/道路が渋滞しているため、早朝の移動になってしまう。/荷主と調整中。/荷主との中間センターの新設等の交渉をしている。/繁閑の差が大きい。/出荷等の平準化がないと難しい。

調査票

ドライバーの雇用状況調査

令和6年7月

(一社) 静岡県トラック協会

今後の雇用対策に資するため、会員各社のドライバー確保・定着の状況等を毎年調査しております。ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。下記に回答のうえ、**7月31日(水)**までに **FAXの場合は054-283-1917**へご返信くださいますようお願いいたします。

※WEB 回答フォームを設けておりますので右の QR コードでもご回答いただけます。



Q1: 貴社の所属支部と静岡県内保有車両数

支部 / 県内保有車両数 (被けん引除く) 台

Q2: 貴社 (県内) のドライバー数は?

		18~20歳	21~30歳	31~40歳	41~50歳	51~59歳	60歳以上	合計
男性	日本人	名	名	名	名	名	名	名
	外国人	名	名	名	名	名	名	名
女性	日本人	名	名	名	名	名	名	名
	外国人	名	名	名	名	名	名	名

Q3: 貴社 (県内) におけるドライバーの充足感はどのような状況ですか? (単一回答)

1. 足りている 2. 繁忙期のみ不足 ➔ 1.または 2.を選択...Q7 (~Q9) ^
 3. やや不足 4. かなり不足 ➔ 3.または 4.を選択...Q4 (~Q9) ^

Q3で「③やや不足」「④かなり不足」のいずれかに回答した方にお聞きます

Q4: ドライバーの不足状態はどのくらい続いていますか? (単一回答)

1. 最近~1か月程度 2. 3か月程度 3. 半年以上 4. 1年以上 (慢性的)

Q5: 現在不足している人数を免許種別ごとに記入してください。

免許種別 (車両総重量)	大型 (11トン以上)	中型 (11トン未満)	準中型 (7.5トン未満)	普通 (3.5トン未満)	けん引 (トレーラ)
不足している人数	名	名	名	名	名

Q6: ドライバー不足の理由として最も大きなものを「1つ」お答えください。(単一回答)

1. 退職 ➔ “1.”の理由は? (ア. 定年 イ. 業務内容・労働時間 ウ. 賃金 (待遇) エ. 人間関係)
 2. 受注量の増加 3. 募集するも応募がない
 4. 採用するも定着しない 5. 輸送品目が特種で経験 (資格) を必要とするため育成に時間がかかる
 6. その他 ()

Q7: ドライバー不足により輸送が困難な場合の対応として考えるものはなんですか? (複数回答可)

1. 高齢者の雇用 (定年延長) 2. 女性ドライバーの雇用 3. 高校等に対する採用活動
 4. 派遣等の採用 5. 免許取得支援・会社補助 6. 受注の調整 (荷受けの拒否等)
 7. 現有ドライバーの労働時間延長 (休出・残業等) 8. 賃金アップに向けた体系の変更 9. 備車・下請の利用
 10. ドライバー職以外の事務職員等で輸送対応 11. 輸送の効率化 (共同配送・予約システム・中継輸送等) 12. その他 ()

Q8: 女性ドライバーを採用しにくい (できない) 理由は何ですか? (複数回答可)

1. 体力面でハンディ (力仕事等) がある 2. 勤務時間や休日取得の希望が合わない 3. 長距離運行を敬遠される
 4. 男女同一賃金 (同一労働・同一賃金) の設定が難しい 5. 育児・再雇用制度の拡充 (支援) が進んでいない
 6. 女性用設備 (休憩室・トイレ等) が無い 7. 応募がない 8. 女性ドライバーを採用できている
 9. その他 ()

Q9: 2024年4月1日より、【自動車運転業務】の時間外労働時間の上限規制 (年 960 時間) 適用が始まりました。

- (1) 現在、時間外労働時間 (法定休日労働を含まない) が年 960 時間を超える「ドライバー」はいますか? (単一回答)
 1. いる (ア. 1割未満 イ. 2割~3割未満 ウ. 3割~4割未満 エ. 4割~5割未満 オ. 5割以上 カ. 何割程度が不明)
 2. いない 3. わからない

- (2) Q9 (1) で「1.いる」とお答えの方にお聞きます。「ドライバー」の時間外労働時間を、上限規制 (年 960 時間) 内に収められそうですか? (単一回答)

1. 今後、自社の努力次第で収められると思う
 2. 自社の努力だけでは難しいと思う (理由:)
 3. わからない

ご協力ありがとうございました FAX:054-283-1917 までご返信ください